

来たれ三里塚へ！

赤風67号



目次

- ・新歓アンケートの報告と
　　我々の見解 1~3
- ・三里塚、そして「過激派」との出会い 4
- ・三里塚公判斗争は
　　三里塚斗争とともに歩む 5~7
- ・連休自主耕作報告記 8~9

東三里塚闘争委員会

三田農園事件とその背景

中野 喜子

権力との激烈な対立の展開が、日本の階級攻防の最前線にある。されば、資本主義社会、現在の日本の、世界の社会にある。平凡さうにみえる田舎社会の母ニ日本ニ生れたの英國の母で、血の母で、血の社會を造りあげていく血脉である、三田農園事件、そして、それ以後の、血脉の全國の人々が、かつとも、アーチカルな形での田舎の体現としてある。

その闘いは、決して、勝って生き証ではない。しかしながら、田舎の格闘と農業を通じ、農民が農業をやり抜くこと、田舎に、自らの力を発見した農民と、それと共に闘つて、十四年の闘いを終して無事に立ち去ったが、それだけで百姓やめてたり、一人なおもれスヒとなつたが、高鳴つて、日本の人民が経験したことがない、「香港戦争」として、日本の人間が経験したことない、大きな闘闘に負け、田舎に敗じている。

本書「公女」とこゝの母で、七回の原稿決定について、進行から始む、三田農園事件は、この始まりからして、「民衆暴動」と「ものにななかたとゆふる」、農園の暴力は、口頭化されてこゝに記してやめたがゆう。田舎社会の「公女」の施しはなしにとどけ、暴力化の大農園達は、日本共産党一派吉田園の「ロシキスト」、暴力学生六四十九人事件の「反対運動」のハマヤヒカールなどと、運動隊の名で「反対運動」のハマヤヒカールがあつて、毎年、船橋や田上駒木や横浜、東京の公判闘争をかねえている。

11の約十日年の権力との攻防の母ニ三田農園事件現在、千葉、東京あわせて、田舎に立つて、田舎の公判闘争をかねえている。

一つ一つ、紹介するにあたる、絶対の困難上、爲したが、同様の母の母がおこしても、最前線に立つて奮闘する。11月11日、97年5月4日、結婚式の中、處殺されて、いた東山農園の農業耕作公判闘争、88年3月審議会開催、入占集、農園者立場の母ニ反対抗議で闘つた農園事件にやがておこる、田の母生を紹介しておいた。

一 東山農園事件の元

東山農園は、三田農園主母、田の母生者であった。彼は、三田農園の母の母に懲られ、故郷田部落にて住む部落の人々とヒサヒリ田園農園を闘つて、向

は、今も、坂道の土の上に眠り、阿ヘンの母生が、歩かなき、五日水田、そして、五田く田や田屋は、想おなじ。五日水田、反対運動のシンボルでもあり、人民の苗床でもあった。田山大鐵塔を抜きうち、闇のうちに、政府一公团一機動隊が撤去した。五田連休が明けたとして、六日深夜三時、「機動隊」という名で、機動隊

隊が、鐵塔をとつ田井、鐵塔を我かものとする人々が5歩も近づけまい状況で、叩けるとモード「坂道」をけつけたり、かへ縛、放水をあび、つかはれたが、權力の非道に一層にかり、そして、鐵塔を我がものあつた。「想おなじ」だおなじ、「親が死んだら悲しい」と哭了。大原反対運動事務局長は、「この權力の非道、無法ぶりは、見ての通りだ。」おなじは、いやなる田二十九歳にして、反対運動が責任を持つこと、故田村義長は、「鐵塔は、倒されたが、われわれの手に鐵塔は立つて、直ちに田井に立つた鐵塔は、薩摩川河にて、倒された」といふと語り、人々の怒りは頂点に達した。一人一人の闘い立つた鐵塔は、薩摩川河にて、倒された。田植えの真夏中であつたが、反対運動は、

が歓迎した。田植えの真夏中であつたが、反対運動は、田植え、五月く田・薩摩川河の母地である千代田農園(農協)で集会を持つていたと判明。田園の人々に敵をもつた。田園へ田、その田の母が開拓の青空が広がる田があった。田園へ田、その田の母が開拓の青空が広がる田があった。

人には二の刀を取つてこなし。それに手に武器を持ち、

手どりて、國家賄償の民事訴訟を行なつた。

敵は、五ヶリ上前で、集会場に集まる人々に対する阻止戦をなして止めたのである。

東山道君は、ちよつとその時、五ヶ所に近い。坂を西
方へ設置した。勝利野戦病院にいた。部隊が退却はじめた
時、機動隊が思案にも、乱入せんとしたのである。彼は、

ヘルメットもつけて、機動隊の進入を防ぐため、アーラー
全組んだ。そして、車の運の方からも、乱入せんとして
機動隊を見つめ、後を振りむいた瞬間、新車がスズキを持つ
左機動隊が、わずか、二、四メートルの距離離なら、
車に向け、水平打ちをしたのである。ガス弾は、彼の胸
に撃突して、込み、彼の頭蓋骨は、陥没した。突して戦闘
ではなかつたが、人民の心からと離さず、ましまだ、自
らの命の危機を感じつたが、混乱に暴亂を重ね、「殺せ、
殺せ」と言しながら、ガス銃を向ける人に向け、打ちなが
していったのである。(実質的には、ガス銃の水平打ちは認
られていない)

鹿敷から、ハカ田余りだつた78年三月、内蔵が鹿敷
かじとしの曲、園うもの、翻わんとするものな、殺
されて当然、と言わんばかりに、干葉地檢は、不起訴処
分を行なつてきた。五月八日、当田、新規が入鏡を携帯
していたのは、二名と田畠となり、犯人はやがつてい
たにも知らず、犯人鹿敷にせがつたのである。この鹿敷
黙動を物語すべく、たちに付審牛糞が用事訴訟法
第三二六二条ふしたるにあるので、集証書とも言われ、
今度はもとよりの職務の用ひにて、検察官が公証
しなべ難い、合意所にて立付けられることあること。

現在、不審判議会と民衆両方で虐殺報復、犯人懲役の動向が取り組まれてしる。そして、不審判議会の審理は密室で行なわれており、これを公用で行なわせる開いも細んでじかなければならぬ。そして、反対側は、國風呂綱里委員会を結成し、公判の実現を誓告。幅広い人々と共に、二の動きを推し進めてしる。

(2) 本校の歴史
当時、権力側は新規が入居してゐる
をえず、マスコミもそのよつてに報道した。しかししながら
ら、権力の窓口、不動産業の方を十二年間みれていたる
反対同盟、團結人間たはつてわけだ。つてもやられ方
してはうまいと。理由もあるし、悲しみのゆでても、既存に處
段階の廃止を開始した。同窓会は、普通、権力の方の
中で行なわれたが、まぢ、それを計りなこねども、西親
立ち会二を立ち成つた。千葉大木村教授の講定は、新規が
入居する結果を下した。適度な尺度の水平をもつての発展

は、殺人であり、現在の法律のなかでは、殺人罪である。
魔力自らを、その志によれば、当主 誓せられなければだ
らない。魔術の畢竟を隠蔽せねばならぬため、御内親と反対同
盟の勢力、告浜を襲へられて、一方も、田と千葉姓を挙

官制考公朝圖錄

國慶の成信をかけた78年。3.30開港は、人民の創立工夫
で葬られた。その預託にあつたのが、廢帝を正極し、
破綻した同社であり、これがゆえ、華力の逆襲に敗れ、同

の連庄も、最もシジアである。審制戦士の名は、二年
たつた今も、獄にとらわれてゐる。

開港戦士が戦の中で、権力にとらわれたものは、二百名
を越え、起訴者は90%を取るかに亘る。無差別な大連続
捕起訴、その後、半数を強制からこの東京地裁に移送する。
といつた司法権力の異常は、その後の公判闘争においても
多いである。

東京地裁の後、更に細分調し、控訴裁判を経て、審制場
公判におけるは、公判日程、五回を予定してきたり。強
制的訴訟権によつて、被告はむち輪、傍聴へ、弁護人を
も選任させるといつた物である。

毎年1月未だ行なわぬ、年刊保費一算達の要求10
万人署名は、13万5千といつ、多くの人々の声を集め、裁
判所にたたきつけられたが、との声と裁判所は無視するば
かりか、虚偽危険罪との適用事態を垂つてゐるのに、起訴
せにすら書かれでない、「人命を犯した」「そんなどは殺人
向を歩す訳にはいりません」と豪語し、政府方に保険しない
ことを理由としている。

錫谷北大も「ガス弾説」で取材困難になる恐れ

3/15 成田闘争で死亡の東山

成田空港の審制塔襲撃

「北大正地採用志書へ

（5月開港戦士保護運動会）

審制戦士たるが、獄中にとらわれてゐる戦士の連続
はもううんの11と、三里塚闘争の勝利なくして、公判闘
争の勝利はない。無理矢理、獄中から、そして、闘争へ
民の手によつて、うち破れる。

裁判所は、二人回公判（本年三月四日）において、セ
テオテーアニ巻（セナガ三四五六日、当面、解説したもの）の
証拠採用を承認した。遠路たる証拠採用はもちろんのこと。
被告者が立証しようと訴えていたにて、「個々の被告への
具体的な行為の特徴等については容易に立証できる事案
ではない」として、「証拠の必要性」と判断し、検察官の立
証を援助してゐるあたりである。



(準)

審判場公判は、さういふ五月のある、六月には、檢事側も終えようとしています。一年半の審理といつスピード審理で一回、年に裁判を終ぐる。今まで二回であったのも、五月から四月三回の公判まであります。五月、六月、七月、八月と、つ実刑判決銀行一つとてあります。そこで、保釈を許可されず、早期実刑判決の攻撃をかけています。

連休、四十耕作報口信

すべてのものが活潑であるの真面目、連休で訪れる人々で三里塚は賑わい。首都圏から、名古屋から、大阪から、そして京都から数百名の人々が集まり、田舎の行動を起して。

今年の冬は暖かい。政府一公團は「或田用水を整備不足に悩む反対同盟」に、政府一公團は「或田用水を整備する」。灌漑用水と排水の問題は、まだ、入れば、灌漑用水と排水の問題は、まだ、い、全国の土地を賣ってやがれ、もづけざま、といつて、アーヴィング、ジョンソン、ハーバードエリートに富んでいた。

今、反対同盟は政府一公團の運動を展開す、年前の用水、基盤整備、土地整一付地税、全国化を実力で耕す、「二十世紀」、全国の半億人の結果を得た。

さて、今年、連休は数百の人々が手に手に歓喜や笑顔で、除草剤で殺された全国地を耕す、大に人命を吸き取る。百数十軒ほど反対同盟の家も爆破の人がいる。彼らは、農人仕事では大いに手助けてはいるが、その話ははずす。アーヴィングの連休は、連休に上がる。

八五日一日

モニス、26斗争の審議室入部隊、85-1-95
一ト組に対する判決公判が、3月末にあり、被告中半數以上が、2年と2年6ヶ月とつ実刑判決を受けています。

政府一公團、司法一体となり、連庄を守り返し、斗争を司法権力より守りました。

ハーバード。

つ即に十数ばかり種え付けが済んでいる。ひとつひとつに、小松菜、春菊、ホウレン草、ラデック、エンドウ、インゲン、ハーバードエリートに富んでいます。

いる。

1961年、一年半種刀にて強力除草剤、ボルニル4号で、イクカーフタシノク、ヨモギの中でも生え始め、自ら4号を撒いて土であり、ボルニル4号の強力です。然の力の強さでは、我が心驚かびりである。そつした自然の悪性を抑制し、ゆすりに雑草がはえてきた所を掃いてのがこの我々の力である。いついこの結果が、大凡が、何の実験のかつていう。

（五日）
（五日）

昨年開墾して豊かに更に手を貸していく全国の

水田の代わりをはじめとする。植苗反対同盟の表題は、新たに新品种の耕種機を全国で交換で運転し、土壌上口土口によるものである。その後、丸太と木、柴、てんとう虫と虫の害にかかる。谷間にあら泥田であるから、この土壌は、土壌の代りをする。のことで、一日が、一日、三回耕耘の田の代りをする。

本年、東北と早稲田の先生、第一回講演に常連者

学連盟福井二年連盟の代表者、首都圏の代表者

が、お見えになりました。

昨年、東北と早稲田の先生、第一回講演に常連者

の人々とお話をうながす。今月は名古屋、千葉、大

久、福井に足を踏み入れる。

（五日二日）

田んぼでは前田の城で一反五畝ほどの地が開拓され、茶摘みが行なわれ、人や、今宿所に来て、アメニカ人なども加わって新たな開拓が進む。

三時に、田舎の婦人の「か」で烟で交換会をする。これおこるから田舎者と田舎者のトドロ、田のイメージには限らなかった。田の主は、東京から三島のブランチで、京都の出江者、千葉の出生など、それぞれ独自に公田西をもつて居る。夜は反対同盟の農五千枚と、三種二種植え、田舎者たちを招いて交流会。

農耕から始めて、都議院改選の半年から想起された。衆議院と公田西半と田舎の百姓で共同作業と一派作つて、とにかく公田西の自由耕作、二つにて交換して話をする。

（五日四日）

三里塙に沿うる人の数は一反四百八一つで公田西宿所も100名を越す人々で、正月。

三反歩まで抜ててしまつ。新たにトトモロヒルヤニシを植付ける。

金からば、そぞぞのグリードが現地調査に回る。

我々も初めで来た人と共に、木の根の部屋にさがる高さ10メートルの露草や、露草下岩山露草の近因を窺う。

（五日五日）

露草を刈り残りの一反五畝ほどの田植えが続く。畠では、取り除いた土の代りカツアダチ草が、根のがけつかひ生えはじめてじろりと高く。ひとと段だの井今川の露草は、まだ、二三が露草にかけて露草とおき、お洗濯が出来ない。草シニの後、反対同盟が、しかも、田中村十郎の田舎者と植え。

そこで、十八日、横畠反対同盟の手がかりで、一齊

茶摘みが行なわれ、とて、

三里塙十五坪の井の水を反対同盟が長年統治で来て、田の公田地を耕すが歴史以上に、ドニルナを敵として死んだ大蛇にボンと飛、田茶摘みが行なわれる。

田、我々の公田地耕作は自主耕作の斗争に参りてあるが確実に云がりつつある。我々は、自主耕作によって公田地を一部の者のが所有物とするのである。全人民の田地と一と筆へ返しての二つと申す。今は、我々と、とどき京都、調布、名古屋、熊本、大阪などの現実に耕している數十名の者たちで、今は、後、より多くの「我々」とともに公田地を耕し、巨万の手の人民が銀と銭をもつて空港へ攻めるの斗争、今、我々と一派作つて、公田西の自由耕作、二つにて交換して話す」と思つ。

